

# 目をこらして (9)



初めてのプールは「寒かったよ、深かったよ、下痢しちゃったよ」だったかずほ（十月号参照）のその後の話です。

このままでは……、という親心で、スイミングスクールの短期コースや、夏休みの小学校プールにせっせと通わせたりしました。お風呂にゴーグルをつけて入って遊んだりもしました。そんなことをしているうちに、あらあら、いつの間にかもぐれるようになってしまったのです。

学校の検定でも、二段階も級が上がリ、本人も上機嫌。そして言いました。

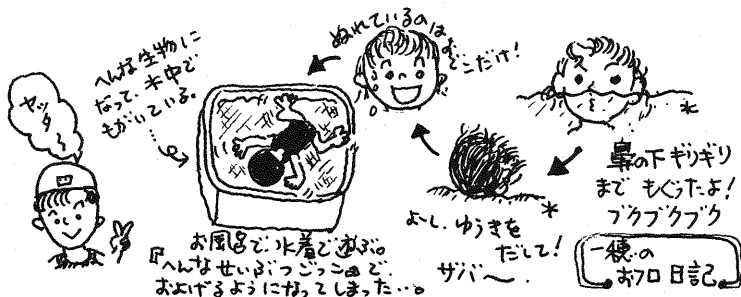
「もう、プール習わなくていいよね」

「え？ でも、二年生になるまでスイミング習っていたら、すごく泳げるようになるかもしれないよ。続けてやれば！」と親としてはつい言ってしまう。すると、また言いました。

「私はね、私のままの私でいいの！」

バシバシと泳いでいるのは自分みたいじゃないって思っているのでしょうか。

ともあれ泳ぐことが大好きになった彼女は、毎日プールに通い、まっ黒に日焼けしたのでした。





# 耳をすまして

やはり泳ぎの話題です。私のクラス（四歳児）にギハン君という韓国の男の子がいました。日本語は殆ど分からない状態で入園しましたが、毎日元気がいっぱい遊んでいます。身振り手振りとは日本語で、大抵のことは通じるようになります。好奇心旺盛な彼は、何でもやってみます。

夏、幼稚園のプールでのこと。水遊びを沢山した後で、もぐって泳ぐことに挑戦し始めた子たちがいきました。

そこで試しに「ギハン君ももぐってみる？」と呼びかけ、私がやってみせました。それをジーツと見ていたギハン君は「こう？」と言ってスーッと水にもぐり体を浮かせたのです。何の抵抗もない体の動きでした。

身振りで伝わる、よく見てその通りやってみる、ギハン君と私のコミュニケーション手段は、言葉ではなく動きです。動きのコミュニケーションを支えているのは、信頼と好奇心かな、と思いました。

かずほとギハン君、二人は魚になって、それぞれの海を泳いでいます。気持ちよさそうに……。

絵と文 宮里暁美（目黒区立ふどう幼稚園）

急須のビキニを  
手に入れて……



スカートが  
ごうかしい。  
めいどり  
きたり…  
いそがしい。

・プールに遊びに行ったら、  
小学生もウキワごおんて  
いた。



ウキワ=小さい子。  
のイメージだったのど  
びっくりした。かずほ。

・自分ノートをついて  
記録をつけといた。  
我が子ががら…  
スゴイ。

